

教員名	山本匡毅	所属学科	地域政策学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>当ゼミでは、地域産業論と中小企業論を軸として、地域の産業振興と中小企業（例：中核工場の閉鎖と下請企業の再編、産業の発展と取引関係の変化、都市型産業集積の衰退と再生等）を考えていきます。専門論文の読み込み、統計、決算資料、新聞等の分析、フィールドワーク、論文執筆を通じて、専門に根差した問題発見力、課題解決力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力を身に付けることが目標です。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>当ゼミは2021年度から新規に開講されました。次のように進めていく予定です。</p> <p><b>[基礎演習]</b>最初に基本文献を読み、内容の要約、報告、議論を行います。また特定の中小企業と個別産業について調査し、レポート作成とプレゼンテーションもします。</p> <p><b>[演習Ⅰ]</b>3年からは卒業論文の準備に入ります。ゼミ生の興味・関心に応じて研究テーマを決定します。ゼミでは文献・論文を研究しつつ、フィールドワークも行います。</p> <p><b>[演習Ⅱ]</b>3年から4年にかけて研究してきた成果を、4年後期に卒業論文として完成させ、最終的に卒論発表会で報告します。</p> <p><b>[時間外のゼミ活動]</b>3年次では通常授業とは別にサブゼミを行い、産学連携プロジェクトやビジネスコンテストへの応募を行う予定です。また授業時間外にフィールドワークを行い、長期休暇期間中には合宿形式で研究報告会を開きます。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>中小企業や産業が抱える課題を明らかにして提案することは、PBL（課題解決型学修）であり、問題発見力、課題解決力、プレゼンテーション力を培います。さらにゼミ生同士が協力して研究し、中小企業の経営者等と接するので、コミュニケーション力も強化できます。当ゼミは新設のため卒業生がいませんが、前述の学修を通して、前任校では公務員、金融機関（含農協）が比較的多い進路でした。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>関満博（2017）『日本の中小企業：少子高齢化時代の起業・経営・承継』中公新書  細谷祐二（2017）『地域の力を引き出す企業：グローバル・ニッチトップ企業が示す未来』ちくま新書</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>先入観は物事の本質を見誤ることにつながります。地域政策研究は、地域の本質が何かを見つける学びです。ゼミでの学修を通じて社会のしくみ（マナーも）を理解し、地域や企業に関する社会的事象の本質を見抜く力を養うことを期待しています。</p>			